

令和2年12月8日

保護者の皆様

新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合の学校及びご家庭での対応について

東京学芸大学附属高等学校

校長 大野 弘

厚生労働省よりの11月27日付の事務連絡によれば、直近の新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は過去最多の水準となっており、地域によってはすでに急速な感染拡大が見られており、このままの状況が続けば医療提供体制と公衆衛生体制に重大な影響を生じることがあるとのことです。このような状況下で、本校において新型コロナウイルス感染症のクラスター発生を防ぐため、生徒本人及び同居家族の方に同感染症の疑いがある場合の学校とご家庭での対応を下記の通りまとめましたので、ご連絡いたします。生徒の健康と安全を守るため、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

但し、これは現下の状況に基づく判断であり、今後の感染症の状況の変化によっては変わり得ることをご了解ください。

なお、既にお願ひしております登校前の検温とその結果のweb上での入力に関して、最近、失念する生徒が増えてまいりました。こちらも大事なことです、ご家庭でのご指導をよろしくお願ひいたします。

記

- 1 本人の体調悪い時、すぐに学校に連絡し、
→回復まで登校不可
- 2 本人が感染症の疑いでPCR検査等を受けた時、すぐに学校に連絡し、
→①陰性が判明するまで出席停止
→②陽性なら保健所や医療機関の指示に従う、学校は濃厚接触者の特定、消毒等の対応
- 3 同居家族が感染症の疑いでPCR検査等を受けた時、すぐに学校に連絡し、
→①本人は家族の陰性が判明するまで出席停止
→②家族が陰性なら登校可
→③家族が陽性なら、本人の結果に関わらず2週間出席停止
- 4 本人が濃厚接触者とされた時、すぐに学校に連絡し、
→本人の検査結果に関わらず2週間出席停止
- 5 同居家族が濃厚接触者とされた時、すぐに学校に連絡し、
→家族の検査結果が陰性とされる時まで出席停止
または検査が行われないときには2週間の出席停止

以上